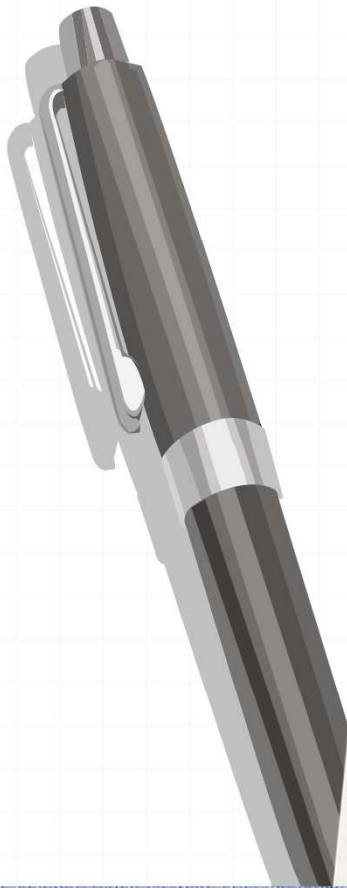


ENERGY FRONTIER JOURNAL



エネルギーフロンティア ジャーナル 2023年 夏号 目次



- 時事解説
『地球沸騰化』を実感する猛暑の夏
- エネルギーフロンティアの事業紹介
「原子力発電」の行く末を想う
- エネルギーフロンティアのひとり言
セルフビルド&オフグリッドハウス
- イベント情報
第2回「GX実現に向けた基本方針」について
の全国説明・意見交換会 ほか

VOL.50 記念号



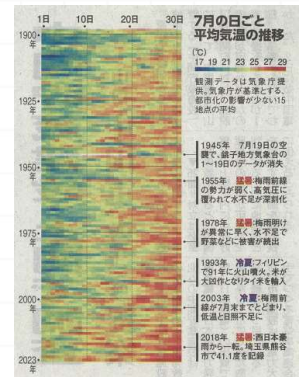
『地球沸騰化』を実感する猛暑の夏

おかげさまで『エネルギーフロンティアジャーナル』は、創業直後の**2011年8月の創刊号から12年の月日**を経て、本号で**50回目の記念号発行**となりました。これもひとえに、ご関係者の皆さまに支えられ、熱いメッセージも寄せていただきながら、旬な話題をご提供させていただきたい想いを文字にして、永く書き連ねてきた賜物です。心から感謝を申し上げますとともに、今後とも、引き続き、宜しくお願い申し上げます。

さて、猛威を振るった台風7号が日本を縦断して、また**猛暑の夏**が戻ってきました。今夏は、我々自身も実感したとおり、**世界全体で最も暑い7月**を迎えてしまいました。**7月27日グテーレス国連事務総長は「地球沸騰化の時代が到来した」と警告を発**しました。ただし、報道では熱中症対策の冷房ばかりが強調され、「節電」などの言葉が死語になっている感も否めません。皆さまと少し話題を掘り下げてみたいと思います。

『地球沸騰化』を示す客観的証拠

東京では、7月に最高気温が35℃以上の**猛暑日**が**13日**もあり、2001年の7日を大きく更新しました。1920年代には7月の猛暑日がゼロの年もあったのに、2000年頃から顕著に猛暑日が増加して、2018年には年間の猛暑日が59日に達し、埼玉県熊谷市で**最高気温41.1℃**を記録しました。しかしながら、すでに**今夏は、40℃を記録した地点が30ヶ所を越えています**。



出典：朝日新聞記事

世界気象機関と欧州連合の気象情報機関「**コペルニクス気候変動サービス**」は、『地球沸騰化』が発せられた7月27日、「**世界の7月の平均気温が観測史上最も高くなる見込み**」と発表しました。**中国**の新疆ウイグル自治区では、**52.2℃**を記録しました。

海水温上昇による『スーパーエルニーニョ現象』



出典：朝日新聞記事

南米ペルー沖など太平洋東側の水温が、平年よりも高い状態が1年ほど続く「**エルニーニョ現象**」が、今年**4年振りに発生**しています。「エルニーニョ」とは、スペイン語で「男の子」を意味しており、幼子イエス・キリストを指しているそうです。もともと、毎年クリスマスごろに、ペルー沖で起こる暖流のことを呼んだのが語源とのことです。

さらに、**今年の記録的な猛暑**と相関して、**より強力な『スーパーエルニーニョ』**に発達する可能性があるそうです。「エルニーニョ現象」が起これば世界の平均気温が上がり、**異常気象を引き起こす**ことが分かっています。今回のハワイマウイ島の山火事は、人為的な原因と報道されていますが、「**エルニーニョ現象に伴う異常気象と世界中で起こる山火事との関連**」が研究されています。『地球沸騰化』の時代を迎え、もう「地球温暖化」「気候変動」など、見込みの甘い表現は姿を消していくでしょう。

自分なりに「**エネルギー**」のことを考え続け、身の回りから変えていこうとして、仕事や生活など、出来る限り行動に移してきたつもりですが、『地球沸騰化』という現実を目の前に突き付けられて、**倒れそうな虚しい想い**に迫られる瞬間もあります。しかし、世界の1人ひとりが目標を諦めた瞬間に、**地球の終焉を迎える恐怖心**も感じます。猛暑のときこそ、頭を冷やし「**継続は力なり**」を実践していきたいものです。

「原子力発電の行く末を想う」

50回記念号に相応しい記事に悩んだ結果、敢えて、皆さまと「原子力発電」について考えてみたいと思います。原子力については、**様々な意見があること**を承知のうえで、多少、**私見が入ることをご容赦**いただき、お付き合いいただければ幸いです。

「原子力発電」に対する立場について

先ず冒頭に、**個人的な立場**をはっきりさせます。自分自身は「原子力発電」については、『**フェードアウト**』の立場です。つまり、**2050年カーボンニュートラル**に向けて、次世代の日本の「エネルギー」のあるべき姿を想うとき、**過渡的な手段としての原子力**は、東日本大震災での**福島第一原発事故の教訓**も踏まえ、**運転40年ルール**も厳守のうえ、**徐々に歴史的な役割を終えて、廃止していくべき**と考えています。

そのうえで、「**原子力に頼らない新たなエネルギーシステム**」を構築するために、**国民全体で徹底的に議論してゴールを決定**したうえで、**バックカスティング**的に、2040年時点、2030年時点のあるべき**目標やプロセスを明確に設定**して、**時の政権の方針などに左右されず**、1人ひとりが決まればよく、**ゴールを目指すべき**と考えています。現在、大議論となっている「**高レベル性廃棄物の地層処分**」など、前世代から解決されていない問題についても、**原子力に賛成・反対を問わず**、次世代に宿題を残さず、国民的議論を展開して、**方向性を決定していく**必要があると考えます。

『GX実現に向けた基本方針』について想う

岸田政権下で公表された『**GX（グリーントランスフォーメーション）実現に向けた基本方針**』についても触れたいと思います。間違い無く**世界的には「グリーン」＝「再生可能エネルギー」**のことを指しています。ところが、日本の定義の「GX」には、再エネに隠れて「**原子力回帰**」の方針が明確に掲げられています。自分自身は、この方針の決定に向けた「**パブリックコメント**」において、**意見を提出**しました。趣旨としては、東日本大震災以降の政権が守ってきた「**可能な限り原子力を低減する**」という**政策を転換**して、再び「**原子力回帰**」を目指すのであれば、**国民的議論を実施すべき**であり、**国民投票で決定すべき事項**であると述べました。個別の意見に対しての回答は得られず、我々の代弁者である国会においても、活発な議論が行われた経緯もなく、**政府の閣議決定**により、この方針は**国民に承認された**ことになっています。

このままでは、化石賞を貰い続けている日本は、「**グリーンウォッシュ**」の烙印を押され、また「**遅れた30年**」を繰り返すことに他なりません。いつになれば、日本の「**エネルギー**」は、政治主導のトップダウンの方針決定ではなく、**国民主導のボトムアップの方針決定**ができる世の中になるのでしょうか？日本政府は、広島、長崎の原爆も経験しながら、未だに世界に核廃絶の方針を示せていない構図と酷似しています。

いつの間にか、運転40年ルールは反故にされて**60年超運転を認める法改正**がなされ、また、**原発再稼働や新たな原子力発電所の建設に国民の血税**がつぎ込まれようとしています。上記のGX方針に記載された「**次世代型高速炉**」についても、膨大な国家予算を充当して、実証炉の建設を担う企業も選定して、2040年代の運転開始を目指す方針が表明されました。歴史的に振り返っても、「**もんじゅの大失態**」や「**完成しない六ヶ所村の再処理工場**」など、人間は学ぶべき生物のはずが、“見て見ぬふり”を決め込んで、権力だけで群れを支配していく“ボス猿”のような振る舞いです。これでは、**東日本大震災、福島第一原発事故で犠牲になられた方、いまだに被害に苦しんでおられる方は、いったい怒りをどこに向ければ良いのでしょうか？**本当に取るべき方向性は、誰でも冷静になれば、**自ずと答えを出せる**と信じます。もし、この文面により、仕事に影響を受けても、**自分は信念を貫きたい**と考えます。そして、日々の仕事、生活を通じて、決して諦めることなく、**あるべき「エネルギー」を追い続けたい**と思います。

エネルギーフロンティアのひとり言

*** セルフビルド&オフグリッドハウス ***

2011年9月発行の第2号でご紹介した長野県小川村に在住する友人のその後をお伝えしたいと思います。大手建設会社を脱サラして、家族で移住して無農薬野菜の栽培などをされていますが、今年5月に新たな住み家に宿泊させてもらいました。なんとご家族だけで全て家を建ててしまった“セルフビルド”で、しかも、電線と繋がっていない“オフグリッド”のお家なのです。7年かけて完成して、なお進化し続けているのです。



電気→太陽光、給湯→太陽熱、暖房→薪ストーブなど、究極のゼロエネルギー生活を実践されています。特に目を惹いたのが、家中に熱が伝わるように設計された薪ストーブ。煙道をソファの下に潜らせて暖を取るアイデアなど感動です！もともと森林だった土地から、木を伐採、自作の製材機で製材して苦労しながら、家を建てていくプロセスを家族で愉しんできたそうです。

太陽光発電と比較して、非常にエネルギー効率の高い太陽熱利用システムは、友人も一押しで推奨していました。都市部などでは、太陽光発電以外に身近な再エネ利用が難しい印象がありますが、皆さまに平等に供給されるCO₂ゼロエネルギーなので、今後に期待したいと思います。信州山脈の景色も綺麗で、とても贅沢な休日を過ごさせてもらいました。

イベント情報

- ✓ 本文でも触れました『地球沸騰化』に関する、グテーレス国連事務総長の発言全文は、以下のHPにおいて内容を確認することが出来ますので、ご参照いただければと思います。
<https://www.alterna.co.jp/91171/>
- ✓ 本文でも触れました「GX実現に向けた基本方針」に関連して、経済産業省様／各経済産業局様主催で、『第2回「GX実現に向けた基本方針」』についての全国説明・意見交換会』が全国各地で実施される予定です（6/30～12/8）。詳細は以下のHPをご参照下さい。
9月22日（金）開催予定の近畿経済産業局様主催の会には、自分も参加したいと考えています。
https://www.enecho.meti.go.jp/information/gx/02.html?ui_medium=enecho_mailmag
- ✓ 本文でも触れました「原子力回帰」に関する、話題については、以下のNHK様のニュースなどで内容確認することが出来ます。是非とも、皆さまも内容をご参照いただき、ご自身で考えていただき、ご自身の意見を整理していただく機会になれば、と思います。
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230531/k10014083551000.html>
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230726/k10014143031000.html>
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230705/k10014119551000.html>



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F
TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル202
E-Mail : info@energyfrontier.jp
HP : <https://www.energyfrontier.jp>